

産学連携学会 第6回大会《案内》

*6th Annual Meeting of
Japan Society for Intellectual Production*

会 期 2008年6月26日（木）
6月27日（金）

場 所 コンパルホール
〒870-0021 大分県大分市 府内町1丁目5番38号

大会事務局 大分大学イノベーション機構リエゾンオフィス
産学連携学会第6回大会実行委員会

大会長 羽野 忠
実行委員長 伊藤 正実

産学連携学会 第6回年次大会のご案内

2008年3月版

産学連携学会は、産学連携に従事する人、産学連携を必要とする人、産学連携を支える人すべてを対象とし、産学連携学の確立及び産学連携の発展をとおして、学術や技術の促進と豊かで個性と活性に富んだ社会構築に寄与することを目的として活動しています。

産学連携に関する諸課題について、産官学の学識経験者や実務家が広く交流し、相互に啓発しあう場として、下記により第6回年次大会を開催します。学会員はもとより産学連携に関心のある方々の多くの参加をお願い申し上げます。

記

1. 大会

開催日 2008年6月26日(木)～2008年6月27日(金)
場 所 大分県大分市 コンパルホール
〒870-0021 大分県大分市府内町1丁目5番38号
TEL 097-538-3700 FAX 097-534-4049
URL <http://www2.city.oita.oita.jp/webtop/shisetu/conpal.html>
交通アクセス 大分駅から徒歩7分

2. 懇親会

日 時 2008年6月26日(木) 18時00分～19時30分
場 所 大分市 トキハ会館
大分市府内町2丁目1番4号
TEL 097-538-3111 FAX 097-538-3121
URL <http://www.tokiwa-dept.co.jp/kaikan/>
交通アクセス 大分駅から徒歩5分

3. 大会プログラムの概要(予定)

(1) 招待講演

講師 由布院温泉 亀の井別荘社主 **中谷 健太郎 氏**

かつてはひなびた大分の田舎の温泉地だった湯布院が、何故全国的に見て著名な観光地になり、他地域からもたくさんの人が訪れる場所になったか、その町作りの中心人物であった中谷氏にその経緯をお話していただきます。

(2) シンポジウム プロジェクト型地域産学官連携の現在・過去・未来 (仮題)

シーズの育成から産学官連携のプロジェクトを立ち上げ、ファンドをとり、研究開発を進めて企業はこれを事業化することによりイノベーションを起こす。これら一連のプロセスをシステム化することは決して容易なことではないと考えます。このシンポジウムでは、パネラーにそれぞれの地域での取り組みについて、話をしていただき、その成功の鍵となるもの、落とし穴となるものは何か探っていきます。

(パネラーについては現在人選中です。)

(3) 一般講演(口頭発表)

* 発表内容については以下の項目のみに限るものではありません。別添のプログラム分類表をご参照ください。

1) 人材育成

- 2) 外部機関等とのアライアンス
- 3) 知的財産
- 4) リエゾン活動
- 5) 産学官連携プロジェクト創出
- 6) 大学発ベンチャー
- 7) 産学官連携政策
- 8) 国際展開
- 9) 地域連携
- 10) 産学連携論

(4) ポスターセッション (ポスター展示と短時間の口頭発表によるフリーセッション)
一般講演区分と同様の内容のほか、産学連携事例、シーズの紹介等を募集します。

4. 大会日程 (予定)

	A会場 (多目的ホール)	B会場 (会議室1)	C会場 (会議室2)	D会場 (会議室3)	E会場 (会議室4) -
6月26日 (木)					ポスター 展示
10:00~10:30	開会式				
10:30~12:00	招待講演				
13:00~15:00	一般講演	一般講演	一般講演	一般講演	
15:00~16:30	シンポジウム				
16:30~17:30	定期総会				
18:00~19:30	懇親会 (トキハ会館)				
6月27日 (金)					ポスター展示
9:30~15:00	一般講演	一般講演	一般講演	一般講演	コアタイム
15:00~16:30	パネル討論会				ポスター 展示

※日程は予定であり一般講演等の申込状況により変更になる可能性があります。

5. 参加費用

項 目	会員種別	費 用 (円)	
		予約*1	非予約(当日含む*2)
大会参加費 (要旨集代を含む)	正会員 (個人・法人) または準会員	5,500	6,000
	正会員 (学生)	2,500	3,000
	非会員	8,000	9,000
懇親会費	正会員 (個人・法人) または準会員	5,000	6,000
	正会員 (学生)	2,500	3,000
	非会員	5,000	6,000

*1 平成20年3月31日 (月) までに必着で参加申し込みを行った場合の費用

*2 平成20年3月31日 (月) を過ぎて当日までに参加申し込みを行った場合の費用

6. 大会参加の申し込み方法

大会に参加を希望される方は、発表の有無にかかわらず、添付の「大会参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、大会実行委員会事務局まで郵送、FAXまたは電子メールでお申し込みください。

また、同時に上記5の大会参加費および懇親会費（参加希望者のみ）を郵便振替にて別途送金してください（振込先は下記）。振替用紙は、郵便局に備え置きの用紙を使用してください。

また、振込手数料は参加者のご負担になりますのでご了承ください。

（1）予約申込

予約申込締切日：平成20年3月31日（月）〔必着〕

- * 予約申込は、「大会参加申込書」と「費用」のいずれもこの日必着です。（期限厳守）
- * この日以後にお申し込みの場合は、大会参加費と懇親会費が「非予約」扱いになります。
- * 大会不参加の場合でも、振り込まれた費用は返却いたしません。
- * 一般講演およびポスターセッションの発表希望者は、必ず予約申込をして下さい。

（2）非予約申込

- * 予約申込締切日を過ぎて申込される場合、大会当日に参加申込される場合は非予約申込となります。
- * 事前に申し込みをする場合は、年次大会前日までに別添の大会参加申込書を大会実行委員会事務局まで郵送、FAXまたは電子メールで送るとともに、大会参加費等を送金してください。
- * 大会不参加の場合でも、振り込まれた費用は返却いたしません。
- * 大会当日に参加申込される場合は、会場受付にて大会参加申込書及び大会参加費等を提出いただきます。

【大会参加の申込先】

産学連携学会第5回大会実行委員会（大分大学イノベーション機構）

実行委員長 伊藤 正実

〒870-1192 大分市旦野原 700

TEL 097(554)7430 FAX 097(554)7740

E-mail sangaku@cc.oita-u.ac.jp

【大会参加費・懇親会費の振込先】

郵便振替 口座番号 01760-6-119760

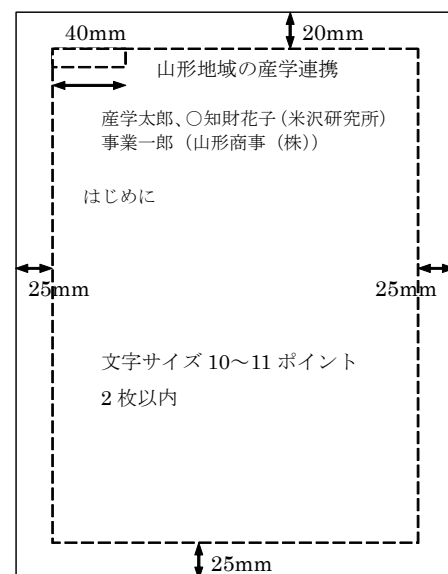
加入者名 産学連携学会第6回大会実行委員会

7. 一般講演およびポスターセッションの申込

- （1）一般講演とポスターセッションの発表希望者（演者）は、平成20年3月31日（月）までに必着で大会参加の予約申し込み（上記6（1））を行ってください。
- （2）大会参加の予約申し込みの際、「大会参加申込書」の所定欄にチェックを入れて、演題と分類（3（3）の1）～9）または3（4）の分類名）を記入してください。
- （3）その後、下記8にしたがって発表要旨原稿を作成し、期日までに提出してください。

8. 発表要旨原稿の作成及び提出

- （1）一般講演またはポスターセッション1件につき、A4版縦の白紙1枚から2枚（2枚以内）に、本文と必要に



- 応じて図表等を配置した完全原稿を作成してください。
- (2) 余白は上20mm、下25mm、左右各25mm とします。
 - (3) 文字のサイズは10～11 ポイントを基本とします。
 - (4) 1行目には、左から40mm 以上空けて（講演番号を記入するため）演題を書き、1行空けて発表者名（複数人連名の場合は演者の氏名の前に○印を付ける）とかつこ内に所属名を記入し、さらに1行空けて本文を書き出してください。
 - (5) 要旨の見出し項目（はじめに、調査方法、結果、考察など）は、自由とします。
 - (6) 提出する電子ファイルの形式は、ワード、またはPDFとします。
 - (7) 作成した発表要旨の印刷物および電子ファイル（FD、CDまたは電子メールに添付。電子メールに添付する場合はファイルのサイズを10MB以内とする）を平成20年4月11日（金）までに必着で大会実行委員会事務局に提出してください。なお、印刷物はそのままオフセット印刷しますので、濃い印字の鮮明な原稿にしてください。また、提出された印刷物、電子メディア等は返却しませんので、予めご了承ください。

9. 一般講演の発表方法

- (1) 発表時間は、講演12分、討論3分、合計15分の予定です。
- (2) 発表に使用する機器は、液晶プロジェクターまたはOHPとします。
- (3) 液晶プロジェクターを用いて発表する方は、Windows 版「Microsoft PowerPoint」で原稿を作成し、その電子ファイルをメール（10MBまで）またはCDに保存して、平成20年6月20日（金）までに（必着）提出してください。ファイル名は「演者の氏名.ppt」としてください。なお、コンピュータ（OS：Windows）は事務局が用意したものを使用していただきます。
- (4) OHPを用いて発表する方は、OHPの操作を各自で行ってください。サポート人員が必要な場合は、各自で確保してください。

10. ポスターセッションの発表方法

- (1) ポスター展示
 - a) 出展者は、ポスターを平成20年6月26日の午前9時30分から12時までに会場へ持参し、所定の場所に各自展示してください。ポスターは大会開催中継続して展示します。
 - b) ポスターのサイズは、縦160 cm×横90 cm 以内とします。
 - c) 当日、ポスターの左上の角（縦12 cm×横22 cm）に発表番号を貼付しますので、その部分を空白にしておいてください。
 - d) ポスター出展者が展示内容の要点を口頭発表するコアタイムを設定します。

大会事務局（申込・問い合わせ先）

産学連携学会第6回大会実行委員会（大分大学イノベーション機構リエゾンオフィス内）
実行委員長 伊藤 正実
（事務会計担当：吉野 美香）

〒870-1192 大分市旦野原700大分大学
TEL 097 (554) 7430 FAX 097 (554) 7740
E-mail sangaku@cc.oita-u.ac.jp

産学連携学会第6回大会一般講演・ポスター/大会参加申込書

予約申込期限：平成20年3月31日（月）必着

平成 年 月 日提出

氏 名	(姓) (名)		整理欄（事務局記入）	
フリガナ	(姓) (名)			
ローマ字	(姓) (名)			
会員種別	☐ 正会員（個人） ☐ 正会員（団体） ☐ 準会員（個人） ☐ 準会員（団体） ☐ 賛助会員（個人） ☐ 賛助会員（団体） ☐ 名誉会員 ☐ 正会員（学生） ☐ 非会員			
所属機関名				
所属部署名		役職		
住 所	〒			
T E L		F A X		
E - mail				
発表申込	☐ 一般講演、 ☐ ポスターセッション *何れかにチェックしてください 1) 演題 _____ 2) 発表者 *演者には○印を記入してください 3) 分類（複数チェック可） ☐ 人材育成 ☐ 外部機関等とのアライアンス ☐ 知的財産 ☐ リエゾン活動 ☐ 産学官連携プロジェクト創出 ☐ 産学官連携政策 ☐ 国際展開 ☐ 地域連携 ☐ 産学連携論 <小項目キーワード> * 該当する小項目全て記載ください。例) 1) 人材の育成 a) MOT (1-a) _____ 4) 発表順番 (番) *連報の場合のみ *非会員による発表：非会員が演者となる場合、発表者（共同研究者等）の中に1名以上の会員が含まれていることが必要です。 *複数発表される場合、演題ごとに申込書を提出してください。連報の場合、上記の4)の発表順番の順位付けを行ってください。 *プログラム編成上、予稿原稿の内容などから、指定のジャンル以外のセッションでの発表をお願いすることがあります。ご了承ください。			
原稿形式	☐ Microsoft Word形式 ☐ P D F 形式			
*該当金額にチェックを入れて合計に合計金額を記入してください。 *予約申込期限後の申込は、非予約申込となります。				
参加費用	区分	正会員, 準会員, 賛助会員 名誉会員	正会員（学生）	非会員
大会参加費 （要旨集代含）	予約	☐ 5,500円	☐ 2,500円	☐ 8,000円
	非予約	☐ 6,000円	☐ 3,000円	☐ 9,000円
懇親会	☐ 参加 ☐ 不参加 *何れかにチェックしてください			
懇親会費	予約	☐ 5,000円	☐ 2,500円	☐ 5,000円
	非予約	☐ 6,000円	☐ 3,000円	☐ 6,000円
合 計		円	円	円
上記金額を平成 年 月 日までに 郵便局で払い込みます。				

産学連携学会第6回大会 セッション分類

一般講演・ポスター発表の申込には、このセッション分類を参考としてください。
申込の際は、該当するキーワードの番号を全て記載してください。

1) 人材育成

(a) MOT、(b) 産学連携実務者育成(手法等) (c) 学生の教育(インターンシップ等)

2) 外部機関等とのアライアンス

(a) 異セクター間の連携(自治体連携、包括協定) (b) 同セクター間の連携(大学間連携等)
(c) 多数組織間の連携(経済団体等との連携、クラスター形成)
(d) 外部連携に際しての内部組織体制の構築(利益相反、知財管理、守秘義務)

3) 知的財産

(a) 職務発明、(b) 出願戦略(パテントポートフォリオ構築等) (c) 技術移転手法・事例、
(d) 知財価値評価、(e) 特許以外の知財

4) リエゾン活動

(a) コーディネート手法、(b) コーディネートツール(データベース、シーズマーケット等)
(c) コーディネータの役割・育成、(d) リエゾン組織、

5) 産学官連携プロジェクト創出

(a) プロジェクト構築事例、(b) プロジェクトの評価分析
(c) 成果の事業化(事例、創出モデル、人材確保) (d) 市場開拓(マーケティング等)

6) 大学発ベンチャー

7) 産学官連携政策

(a) 産学連携促進政策、(b) 科学技術政策、(c) 産業振興政策

8) 国際展開

(a) 連携プロジェクトの国際展開(事例、手法) (b) 海外に対する技術移転(事例、手法)
(c) 人材育成の国際連携、(d) 海外団体等とのアライアンス、(e) 海外の産学連携
(f) 海外政策事例

9) 地域連携

(a) 特色ある地域連携プロジェクト(事例、手法) (b) 連携における地域性(モデル、分析)
(c) 地域産学連携人材育成、(d) 地域団体等とのアライアンス、(e) 地域経済影響評価

10) 産学連携論

(a) 将来展望、(b) 産学連携の包括的な分析